

ルオーの未刊行版画作品について

—出光美術館コレクションを中心に¹⁾—

後藤新治

- I はじめに
- II ルオーの未刊行版画作品の定義と特徴
- III 出光美術館所蔵の未刊行版画作品109点を構成する
11グループの概要
- IV その他の未刊行版画作品
- V 未刊行 inédit が意味するもの—むすびにかえて

「私の性格のいけないところは、私が決して自分に満足しないこと、自分の仕上げ具合を本当に心から喜ばないことで、常に心のうちで、またこの目のうちにもう一つ進歩を求めようとすることです。」

—ルオーのシュアレス宛て書簡 1913年11月1日²⁾

I はじめに

連作油彩画《受難》Passion を筆頭にジョルジュ・ルオー Georges Rouault

1) 本稿は『没後50年ルオー大回顧展』図録（出光美術館、2008年6月14日発行）掲載の拙稿「出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品について」および「基本データ（109点）」に加筆修正を行い、あらたに「IV その他の未刊行版画作品」を書き足し、さらに註を加えたものである。

2) Georges Rouault - André Suarès, *CORRESPONDANCE*, Paris, Gallimard, 1960. 富永惣一・安藤玲子訳『ルオーの手紙 ルオー＝シュアレス往復書簡』河出書房新社, 1971, p.117. 以後RSCと略記。p.は邦訳ページ数。

(1871-1958) の数々の世界的コレクションで知られる東京の出光美術館の収蔵庫には、これまでほとんど公開されたことのない109点の版画作品が眠っている。そのほとんどがフランソワ・シャボンとイザベル・ルオー共編のカタログ・グレゾネ『ルオー全版画』³⁾には収録されておらず、たとえ収録されていたとしても参考図版としての掲載にとどまるものばかりである。二十年近くも前になるが、図録作成の調査に際し他のルオー作品とともにこれら《ミセレーレ》MISERERE や《悪の華》LES FLEURS DU MAL の制作過程を示す版画作品の数々を収蔵庫で見せられた時の興奮を今でも忘れることができない。本稿ではこれらの版画コレクションを「ルオー未刊行版画作品」Œuvres gravées inédites de Georges Rouault と呼ぶことにする。

よく知られているように1939年に事故死した画商アンブローズ・ヴォラル Ambroise Vollard (1866-1939) の遺族とルオーの間で、未完成作品の帰属めぐって起こされた厄介な訴訟の後、画家本人をはじめ父の遺志を継いだ娘イザベル・ルオー Isabelle Rouault によってルオーの未完成作品に関する取り扱いはいずれまでもまして一段と厳格なものとなった。事実、未完成のまま残されたアトリエ作品の管理をはじめ作品の鑑定や印刷物の著作権などは今日、イザベル亡き後ルオーの孫にあたるジャン＝イヴ・ルオー Jean-Yves Rouault が理事長を務めるパリのジョルジュ・ルオー財団 la Fondation Georges Rouault によって一元的に管理されている。『ルオー全版画』の中でも、本人が自作と認めなかった版画作品が市場に出た場合には破棄されることを訴える画家自身の証言が紹介されているほどである⁴⁾。そのような事情を考慮し、またルオー家からのたつての願いもあって、出光美術館はルオー財団に作品所有の事実を報告したうえで、ルオー未刊行版画作品を研究者にもほとんど公開することなく、長い間封印してきた。

3) François Chapon et Isabelle Rouault, *ROUAULT. L'ŒUVRE GRAVÉE, t. I et t. II*, Montecarlo, Éditions André Sauret, 1978. 柳宗玄・高階秀爾・坂本満訳『ルオー全版画』全2巻, 岩波書店, 1979。以後カタログ番号などはCRと略記。p.は邦訳ページ数。

4) CR Ip.267, p.272。

この度ルオー没後50年を記念して出光美術館で開催される「ルオー大回顧展」に際し、美術館を通してルオー財団に作品の一部公開を打診したところ、109点の内25点に限り特別に参考資料 *documentaires* としての展示が許可され、同時に参考図版という名目で同展図録への掲載許可もおりた。これを機会に、やや心許ない当時の調書をひもときながら、ルオー未刊行版画作品の概要を紹介したいと思う。

なお本稿では「ルオー未刊行版画作品」の図版掲載は行わなかった。その代わり末尾に「出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品 基本データ (109点)」を掲げ、参考資料の25点に関しては一覧表の注記に『ルオー大回顧展図録』(出光美術館, 2008)の参考図版番号を記した。各作品には識別のため「未刊行版画作品」の頭文字を取った OGI 番号 (001-109) を付している。

II ルオーの未刊行版画作品の定義と特徴

まず本稿における「未刊行版画作品」*œuvres gravées inédites* の定義からはじめたい。この場合「未刊行」*inédit* とは一般に未だ公刊されていない *qui n'a pas été édité*, あるいは未公開の *qui n'est pas connu* という意味である⁵⁾。本稿でも未刊行をこの一般的な語義で使用しているが、「出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品」と言う場合、いくつか限定的な意味が加わってくる。以下4項目の定義(必要条件)としてまとめてみた。

定義 1. ルオー自身が制作を途中まで進めながら、何らかの理由でその主題を放棄し (*sujet abandonné*), 版画作品としての印刷や公開を拒否した作品 (*planche refusée*) であること。

5) *LE NOUVEAU PETIT ROBERT*, Paris, Dictionnaires Le Robert, 1994.

定義 2. 公刊された主題であっても、ルオー自身が出版や公開を前提に制作した作品ではなく、つまり最終ステート以外の試作的な性格を持った作品であること。具体的には第1ステートおよび数々の中間ステートの刷りをはじめ、最終ステート以後の刷り、さらには銅版に太い斜線を数本入れて (rayé) 廃棄した後の刷り、また色刷り版画では色分解 (décomposition des couleurs) された墨版 (planche pour le noir) や色版 (planche pour les couleurs) による刷りであること。

定義 3. ルオーの没後、画家の原画に基づいて第三者が版画として仕上げた複製版画作品いわゆるエスタンプ estampe であること。

定義 4. 従って公認のカタログ『ルオー全版画』には未収録か、あくまでも参考図版としてしか掲載されていない作品であること。

厳密に言えば定義2にはこのほか、第1ステート以後の刷りの上にルオーによってパステルやグワッシュで加筆修正された作品が含まれている。しかしこれら加筆修正された未刊行版画作品と、版画作品を基底材としながらグワッシュや油彩などで完成された作品⁶⁾との境界は必ずしも明確ではない。本稿では、とくに独立した作品 (タブロー) を想定せず、あくまでも次の版刻に向けてパステルなどで加筆修正されたものをこの未刊行版画作品定義2の中を含めた。

上記定義1から定義3までのうち少なくとも一つが、「出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品」109点の各々に当てはまる。また定義4はすべての作品に該当する。

ではそれらの特徴とは何であろうか。後述するように本コレクションはあるまとまった来歴を有している。従って全体は恣意的に寄せ集められた作品群と

6) CR ではこれらを一般に「類作」 variante と呼んでいる。

異なり、ある程度前所有者の収集に対する明確な意図を窺い知ることのできる内容になっている。以下コレクションの特徴を5項目に分けて列挙してみたい。

特徴1. 全109点の未刊行版画作品のほとんどが、単品ではなくある共通の性格（同一の版画集や挿絵本、同一のステートなど）をそなえたグループとして存在していること。その特性から全体は11のグループに分類可能であること。

特徴2. 11グループの内約半数の4グループ50点が銅版画集《ミセレーレ》（全100点の内58点が1948年刊）に関連した作品であること。しかも50点の内37点（一部主題が重複しているので正確には33主題）が未刊行の不採用主題であり、これによってルオーが当初計画していた版画集《ミセレーレと戦争》*Miserere et Guerre*の全体像100点を⁷⁾、刊行された58主題と未刊行の33主題を合わせた91主題により復元的に考察可能となること。

特徴3. ちょうど同数の4グループ50点が銅版画集《悪の華》（全52点の内14点が1966年刊）に関連した作品であること。しかも50点の内49点（一部主題が重複しているので正確には37主題）が未刊行の不採用主題であり、これによってルオーが当初計画していた版画集《悪の華》の全体像52点を⁸⁾、刊行された14主題と未刊行の37主題を合わせた51主題により復元的に考察可能となること。

特徴4. さらにこの版画集《悪の華》に関連した50点の内、刊行された主題の1点を含む36点が、エリオグラヴュール *héliogravure au grain*⁹⁾による第1ステートの刷りであり、当初の姿を留めることのきわめて希なるルオーの油彩による原画の状態を窺い知ることのできる貴重な作品群であること。

7) CR Ipp.44-45, p.264。

8) CR Ip.20。

特徴 5. 残りの3グループ9点が、色刷り銅版画の工程で刷師が色分解を行って製版する墨版や色版による刷りであり、通常は破棄される試し刷りが残っていること。これによって刷師がルオーの原画を目分量で数枚の銅版に色分けし、1版に数色のインクを同時に詰めて印刷していくプロセスを窺い知ることができること。

以上の5項目が当該コレクションの特徴である。たしかにこれら未刊行版画作品は先にも述べたように、ルオー自身によって様々な理由からその主題は放棄され、刷りは破棄され、作品の売買や公開は厳しく拒否されたものばかりである。それにもかかわらず、画家自身の危惧や憂慮を十分に尊重し考慮した上でこれら出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品を考察の対象にするならば、本コレクションが銅版画集《ミセレーレ》および銅版画集《悪の華》の復元的考察には不可欠の研究資料であるばかりか、色刷り銅版画における刷師の技法的プロセスを知る上でも得難い情報を提供してくれる点で、ルオー版画研究にとってきわめて貴重な作品群であることも事実であろう。

コレクションの来歴についても簡単に触れておきたい。出光美術館のルオー未刊行版画作品109点は、入手の経路や時期のまったく異なる2つのコレクションから成り立っている。仮にこれらをコレクションAとコレクションBと呼ぶことにする。コレクションAには109点の9割近くを占める96点が含ま

9) 19世紀の後半に発見され、完成された一種の写真製版技法。「散粉(式)グラヴィア」とも邦訳される。今日ではあまり使われなくなったグラヴィア印刷(写真凹版法)の最も初歩的なもの。1852年にイギリスの光化学者タルボット William Henry Fox Talbot (1800-1877)が発見し、1878年に写真家のクリッチュ Karl Wenzel Klietsch (1841-1926)がウィーンで完成。銅版の表面にアスファルト粉末を散粉し、裏面から徐々に加熱してアスファルト粉末を銅版に融着させ、その上にカーボン・ティッシュ(ピグメント紙とも言う)に焼き付けた写真を転写。これを温湯で現像した後、塩化第二鉄の溶液で腐食して原版を作成する。現行のグラヴィア印刷が銅円筒を用い、高速大量印刷ができ、完全に機械化されているのに対して、この技法は製版こそ写真技術によるものの、一枚ずつ手刷りでしか印刷できない点など、その刷り上がりの効果はむしろ従来のアクアティント技法に近い。19世紀末から20世紀初頭にかけて、この技法は高級美術印刷技術として愛用された。

れている。一方コレクション B は、作品グループでいえば7番目の「銅版画集《悪の華》不採用主題 (sujet abandonné) の第1ステートの刷りにパステルで加筆したもの」13点がこれに相当する。すなわちこの13点を除いた残りがコレクション A ということになる。このコレクション A であるが、じつは96点の未刊行版画作品以外にも、出光美術館所蔵作品に関していえば、刊行されたルオーのフラピエ版石版画作品48点と書籍《アンドレ・シュアレス著『サーカス』(未刊) のための刷り見本》1点を含んでおり、コレクション A の総数は145点にのぼる。

今回調査を進めて行くうちに判明したことは、コレクション A の大半が、『ルオー全版画』公刊前の便宜的な版画作品カタログであったアラン・ウォフシー編『ルオー版画作品』¹⁰⁾の収録作品そのもの(現物)に由来していたという事実である。ウォフシー編カタログの掲載図版と本コレクションを詳細に比較検討した結果、版画のステートをはじめルオーの筆跡による余白部分への書込や、(ルオーとは異なる)手書きの限定番号にいたるまで両者は正確に一致していた¹¹⁾。

ウォフシーによれば、カタログ掲載作品¹²⁾のほとんどが编者自身の個人コレクションに由来し、欠を補う意味でロサンゼルス Harold P. & Jane F. Ullman コレクションと Grunwald Center for Graphic Arts (UCLA) コレクションが加えられ、それでも不足する16点(多くは未刊行作品)については1966年の Kornfeld & Klipstein オークションカタログから図版のみを借用(小さなサイズで複製)したという¹³⁾。以上のことがらから判断すれば、出光美術館所蔵のコレクション A は上記3つのコレクション中、とりわけ编者アラン・ウォフシーの個人

10) Alan Wofsy, *GEORGES ROUAULT THE GRAPHIC WORK*, London, Secker & Warburg, 1976。ただし本カタログはルオーのオリジナル版画作品として疑わしいものまで含み、また作品のステート記述などにも一部不正確な箇所がある。以後 AW と略記。

11) ただし巻末の「基本データ」中、AW 番号にカッコをつけたコレクション A の11点に関しては AW カタログに相当するものがなかった。

12) AW はカタログ番号で353件を登録するが、そのうちの20点に関してはステートの異なる作品を他に1点収録しているため、AW 登録目録の総数は373点である。

13) AW p.9。

コレクションに由来する可能性がきわめて高いことがわかる¹⁴⁾。

コレクション B の来歴に関しては、残念ながら今のところ何もわかっていない。

Ⅲ 出光美術館所蔵の未刊行版画作品109点を構成する11グループの概要

全体を大きく銅版画集《ミセレーレ》関連作品、銅版画集《悪の華》関連作品、挿絵本色分解関連作品の3部門に分類し、さらに作品の状態や制作のプロセスなどを考慮して11グループに下位分割した。詳細なデータは「基本データ」に譲るとして、以下各グループの概要を報告したい。

1. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》の中間ステートあるいは最終ステート以後の刷り

最初のグループは定義2あるいは定義1の意味で「未刊行版画作品」である。すべて刊行された58主題に含まれるものばかりだが最終ステートそのものはない。ジャックマン夫人工房 Chez Madame Jacquemin における1927年の印刷後、おそらく刷師モーリス・ポタン Maurice Potin の工房で手が加えられたと思われるものが5点ほどある。ポタン工房に由来する最終ステート以後の刷りはいずれも銅版が平滑にされた結果中間トーンが消え、仕上がりに満足できなかったルオーによって結局破棄された¹⁵⁾。

2. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題 (sujet abandonné) の中間ステートあるいは最終ステート以後の刷り

この2主題は刊行された版画集《ミセレーレ》に含まれておらず定義1の意味で「未刊行版画作品」である。いずれもポタン工房での手直しであろう。中

14) AW 未収録の11点もこの個人コレクションに由来する可能性はあり得る。

15) 『ルオー全版画』は58主題の内43主題を参考資料として小さな図版で紹介している。CR152-CR197 (内3主題には後刷りも加えられているため図版総数は46)。

間ステート2点の余白左下には腐食の段階を示すスケール（12段階のグラデーション）が印刷されている。《キリストと盗賊》の主題はその後油彩画でも描き直された。

3. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題 (sujet abandonné) の色刷り石版画による中間ステートおよび最終ステートの刷り

イザベルによるとこれら2主題の「使用された製版工程は写真版の機械的な工程」によったものである。しかも画家と生前のヴォラールとの協定によって「この聖骸布とサーカスの1図は廃棄された *aboli*¹⁶⁾ ため、『ルオー全版画』へは収録されていない。画家自身は市場に出回った当該作品の破棄や回収を強く訴えている。したがってこれら色刷りの4点は定義1の意味で「未刊行版画作品」である。石版画はオーギュスト・クロ Auguste Clot の工房が手がけた¹⁷⁾。《聖骸布》には3色が、《見世物小屋の呼び込み》には7色が使用されているのが試し刷りからわかる。

4. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題 (sujet abandonné) の廃棄 (*rayé*) 後の刷り

すべての版に廃棄のためドライ・ポイントによる斜線が入れられ、刷の余白下部にはこれら初期エリオグラヴィール版（ステート）が無効である旨のルオーによるペンとインクによる書込がある¹⁸⁾。版画集《ミセレーレ》58点の原版は版画集《悪の華》14点の原版とともに、1939年刷師ロジェ・ラクリエール Roger Lacourière (1882-1966) の指導下で廃棄と書込が行われているため¹⁹⁾、ここに集められた不採用主題の廃棄もその頃行われたものと推測される。廃棄時における各主題のステートは様々で、ほとんど手をつけていない初期ステ

16) CR Ip.267。

17) CR Ip.44, note 193。

18) “Planches primitives hélios rayées GR”あるいは“Etat primitif hélios rayée nul GR”。詳細は「基本データ (109点)」を参照のこと。

19) RSC p.421, 1939年2月12日およびCR Ip.268。

トがあるかと思えば、かなり版刻の進んでいるものもある。定義1および定義2の意味で「未刊行版画作品」である。

5. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《「悪の華」のための14枚の銅版画》 のエリオグラヴェールによる第1ステートの刷り

銅版画集《「悪の華」のための14枚の銅版画》の中で最も印象的な主題の出発点を示す貴重な刷りである。「未刊行版画作品」の定義2に該当する。おそらく1925年頃、銅版画集《ミセレーレ》の時同様、刷師マッカール Macquart の工房でルオーの油彩原画が写真製版技法によって銅版に転写された²⁰⁾。最終ステートと比較すると、左右の壁が鎧戸に変わった外は基本的に原画の調子が良く保たれている。

6. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》不採用主題 (sujet abandonné) のエリオグラヴェールによる第1ステートの刷り

公刊された《悪の華》14点以外の主題38点の内、ここには35点が揃っている。しかもすべてが写真製版直後のものであり、ルオーの最初の構想を知ることのできるまたとない作品群である。主題の明暗はいずれも鮮明であり、不鮮明な主題が多かった《ミセレーレ》の場合とはこの点でおおきく異なっている。中にはその後色刷り銅版画による《悪の華》の主題へと引き継がれていったものもある²¹⁾。各タイトルはウォフシー編『ルオー版画作品』によった。きわめて貴重な作品群ではあるが、すべて破棄された主題であることから定義1の意味で「未刊行版画作品」である。

20) CR Ip.20, pp.44-45。

21) OGI073 (CR276), OGI075 (CR278), OGI076 (CR275), OGI079 (CR285), OGI086 (CR274)。

7. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》不採用主題 (sujet abandonné)

の第1ステートの刷りにパステルで加筆したもの

いずれも《悪の華》不採用主題の第1ステート(エリオグラヴェール)の刷りの上から、白や黒のパステルで次の版刻のための修正が加えられている²²⁾。多くの作品には「初期の試し刷り Epreuve primitive」「保留のこと À réserver」「再考のこと À revoir」などの書込がある。このいわゆるコレクションBに相当する《悪の華》13主題の中には、コレクションAの第6グループに存在しない2主題が含まれている²³⁾。公刊された14主題に、コレクションAの35主題とこのコレクションBの(コレクションAにない)2主題を加えた合計51主題は、当初52主題あったとされるルオーの銅版画集《悪の華》構想のほぼ全容を示すものと言ってよからう。一方で重複する11主題(第6グループと第7グループの(A)と(B))について比較検討すれば、実現されることはなかった幻の第2ステートを推測することも可能である。第6グループ同様、これらも定義1の意味で「未刊行版画作品」である。

8. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》のための新しい習作 (nouvelle étude) のエッチングによる第1ステートの刷り

《悪の華》14主題は《ミセレーレ》58主題とともに1927年刷師ジャックマンの工房で印刷された。両版画集の主題は以後新しい刷師のもとで様々な試みがなされたが、その中の1点がルオーにしては珍しいこのエッチングの線だけによる習作である。イザベルによれば、刷師は不明だが、1930年以降に版刻され、数枚の試し刷り後、ルオーによって廃棄された²⁴⁾。したがって定義1の意味で

22) 『ルオー全版画』において、イザベルは《悪の華》14点の採用主題に関して同様の修正を行ったものを「bステート」として位置づけ図版掲載している。CR214b-227b。

23) AW番号が空欄のOGI089とOGI096。出光図録(2008)ではOGI090《悪の華》[ベアトリーチェ(浄福を授ける女)2](B)を[ベアトリーチェ(浄福を授ける女)3]として別主題にしていたが、その後これが[ベアトリーチェ(浄福を授ける女)2]と同一主題(同一銅版画)であることが判明した。

24) CR IIp.76。

「未刊行版画作品」である。『ルオー全版画』はこのほか、エッチングとシュガー・アクアティント併用や、メゾティントのみによる新たな習作を紹介している（CR228-CR231）。

9. CIRQUE 挿絵本《サーカス》（未刊）不採用主題（*sujet abandonné*）の色版（*planche pour les couleurs*）を除く、墨版（*planche pour le noir*）による中間ステートの刷り

アンドレ・シュアレス André Suarès（1868-1948）が本文を書いた未刊の挿絵本《サーカス》のために、ルオーは1930年に8主題の色刷り銅版画を刷師モーリス・ポタンの下で完成させ、印刷させた。本作品はその際採用されなかった2主題の内の1点である。ルオーは2主題の出来に不満で破棄を願った²⁵⁾。したがって定義1の意味で「未刊行版画作品」である。主題はよく似ているものの、本作は次の刷師ロジェ・ラクリエールが版刻した《オーギュスト》の墨版とは構図の細部で異なっており、両者は別作品である。

10. CIRQUE DE L'ÉTOILE FILANTE 挿絵本《流れる星のサーカス》の墨版（*planche pour le noir*）を除く、色分解（*décomposition des couleurs*）された色版（*planche pour les couleurs*）による中間ステートの刷り

シュアレスに代わってルオーが本文を入れた挿絵本《流れる星のサーカス》（1938年刊）は、ルオーの信望厚い刷師ロジェ・ラクリエールによって原画が版刻された。刷師は色版用に2枚の銅版(A)と(B)を作成し、各色専用のタンポ *poupée* を用いてインク詰めする「ア・ラ・プペ」*à la poupée* と呼ばれる技法で巧みに色刷りし、13色を重ね合わせた(C)。これに墨版が加われば主題は完成する。とはいうものの公開を前提としておらず、やはり定義2の意味で「未刊行版画作品」である。

25) CR Ipp.272-273。その後ルオーは挿絵本の著者シュアレスに宛てて「唯一の危険は P [ポタンのこと：筆者註] の所での色の問題です。」(RSC p.353, 1932年5月4日)と書き送っている。

11. FLEURS DÉCORATIVES 《装飾的な花》(ルオーの油彩画に基づくエスタンプ)の墨版 (*planche pour le noir*) および色分解 (*décomposition des couleurs*) された色版 (*planche pour les couleurs*) による最終ステートの刷り

ルオーの没後1960年に、画家の油彩画《飾りの花》*Fleurs décoratives* (DR2270)²⁶⁾に基づいてラクリエールの工房で複製版刻されたいわゆるエスタンプ *estampe* の一種であり、これは定義3の意味で「未刊行版画作品」である。墨版に加えて3枚に分けられた色版が、22色を重ねた完成作とともに完全に揃っている点でたいへん貴重な作例であると言える。刷り上がりを想定しながら刷師によって自由に描かれた「ア・ラ・プベ」の特色が遺憾なく発揮された作品でもある。

IV その他の未刊行版画作品

もちろん出光美術館所蔵の未刊行版画作品109点が、ルオー未刊行版画作品の全てではない。そこでここでは『ルオー全版画』の記述に基づき、出光コレクションに含まれない主要な未刊行版画作品の4グループを紹介することで、ルオー未刊行版画作品の全貌を把握したい。いずれも何らかの理由で画家によって破棄され、または出版や公開が許可されなかった作品ばかりである。ただし誤って市場に出回っている作品を識別する目的で、『ルオー全版画』は参考資料と断って小さな図版を掲載している。

1. GROTESQUES 色刷り銅版画集《グロテスクな人物たち》: 8点 (CR206-CR213)

ルオーは早くも1913年、「ミセレーレ」などと並び「女たちとグロテスクな人物たち」と題されたシャンソン入りの版画集を構想している²⁷⁾。1926年10月

26) DR は、Bernard Drival et Isabelle Rouault, *ROUAULT. L'ŒUVRE PEINT, t. I et t. II*, Monte-Carlo, Éditions André Sauret, 1988. 柳宗玄・高野禎子訳『ルオー全絵画』全2巻, 岩波書店, 1990 の略。p.は邦訳ページ数。

から画家は色刷り銅版画 *eaux-fortes en couleurs* の新たな研究を始めるが²⁸⁾、フラピエ版石版画集《グロテスクな人物たち *Grotesques*》(1927-29, CR335-CR341) の制作とも平行しながら、1928年から32年にかけて同主題を刷師ポタンのもとで試みたのが本シリーズである。結局出来に不満であった画家は試し刷りの破棄を願った²⁹⁾。淡彩による下絵と試し刷りの一部は現在ボルドー美術館に保存されている³⁰⁾。

2. RÉINCARNATIONS DU PÈRE UBU 銅版画集《ユビュおやじの再生》 ミニアチュール版 (*Édition miniature*) : 23点 (CR31-CR53)

ヴォラールの著作『ユビュおやじの再生』の挿絵制作をほぼ終えていた1928年から32年にかけて、著者は画家に挿絵の目次用図版一覧を銅版画によるミニアチュールで作って見ないかと提案した。著者自ら「小型」本 *une édition 《en petit format》* と呼んだヴォラールの巧妙な誘いをいったんは引き受けたものの、おそらくルオー自身がポタン工房での作品の出来に満足できず、あるいは過剰な仕事量に耐えきれず³¹⁾、結局これらの試みは放棄され、正式に出版されることはなかった³²⁾。

3. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》のための新しい習作 (*nouvelle étude*) (2) : 7点 (CR237-CR239)

先に紹介した「《悪の華》のための新しい習作」はいずれもエッチングやメ

27) CR Ip.8。

28) ルオーのシュアレス宛書簡「色刷り版画を作らねばなりません。(今やっているのとは別のもので、特殊な研究を重ねているので他言しないで下さい)」。RSC p.299, 1926年10月26日。

29) CR Ip.272。

30) CR Ip.282。

31) ルオーのシュアレス宛書簡「ミニアチュール本のための100点近い小型銅版画の廃止…大量の目次用デッサンの廃止…これで仕事全体に目途がつかます」。RSC p.353, 1932年5月4日。

32) CR Ip.136。

ゾティントなど、ルオーにとって新たな技法（とおそらく新たな刷師のもと）での同主題への挑戦であった。これとは別に、おそらく1928年から32年にかけて《悪の華》の出版された14主題の内の7主題が刷師ポタンのもとで作り直された。他のポタン作品と同様、ルオーは刷り上がりに満足できず、結局これらも破棄された³³⁾。

4. PASSION 挿絵本《受難》のための最初の試案 (premiers projets) : 15点 (CR290-CR304)

シュアレス著『受難』のための色刷り銅版画による最初の試案である。これまで紹介して来た《ミセレーレ》の後刷り（58点のうち43点）、シュアレスの《サーカス》（未刊、8点）、色刷りの《グロテスクな人物たち》（8点）、《ユビュおやじの再生》ミニアチュール版（23点）、《悪の華》の後刷り（14点のうち7点）と同様、この試案もポタンのもとで試みられたが、結局ルオーにとって満足のいく結果が得られず不採用に終わった。《受難》の試案は、先の《グロテスクな人物たち》の試案とともに、現在ボルドー美術館のコレクションとなっている³⁴⁾。

V 未刊行 inédit が意味するもの—むすびにかえて

最後にルオーの未刊行版画作品が意味するものについて考えてみたい。未刊行 inédit の問題は当然のことながら未完成 inachvé の問題と深く関わっている。もちろんルネサンス以来の概念である non finito（未完成）とも無関係ではない³⁵⁾。冒頭のエピグラフで紹介したルオーの言葉からもわかるように、画家は常に自己に対しておおいなる不満足を抱きつつ制作にたずさわっていた。ル

33) CR IIp.76, p.85。

34) CR IIp.200。

35) J.A.Schmoll, herausgegeben von, *DAS UNVOLLENDETE ALS KÜNSTLERISCHE FORM: EIN SYMPOSIUM*, Bern, Francke Verlag, 1959。中村二柄他訳『芸術における未完成』岩崎美術社, 1971, 1991を参照のこと。

オー自身によって生前から「未完成の絵」*peintures inachvées* と呼ばれていた油彩画（1929-1939）が67点ほど知られている³⁶⁾。イザベルによれば、ルオーはヴォラールとの契約によって、署名した作品だけを完成作と認めた³⁷⁾。版画作品に関しても同じことが言える。

版画集の《ミセレーレ》と《悪の華》について言えば、最初の構想100点＋52点の計152点のうち、画家自身がサインと年記を入れて完成したのは58点＋14点の計72点であり、単純計算すれば全体の47%にしかすぎない。つまり半数以上が「未完成」のまま残されたわけである。今回これらすべてが未刊行版画作品として取り扱われているのは言うまでもない。完成へ至らなかった理由は様々に考えられようが、最大の理由は先のルオーの制作における不満足、つまり永遠に終わることのない「形態、色彩、調和」の追求であろう³⁸⁾。これは未刊行の内在的な理由である。

未刊行の理由は画家の内部にのみ求められるわけではない。すでに述べたように、《ミセレーレ》の主題を色刷り石版画へと機械的に移し替えた刷師オーギュスト・クロの仕事や、とりわけ1928年から32年にかけてルオーの全ての版画制作にかかわった刷師モーリス・ポタンの仕事に対し、ルオーはその職人的技巧に納得がいかず、結局受け入れを拒否した。これは未刊行のいわば外在的な要因である。

未刊行にはもう一つ大きな理由がある。それは画商ヴォラールの存在である。もちろん画家と画商は出身や性格や価値観など多くの点で相違があった。しかしただ一点で二人はたいへんよく似ていた。それは自己の芸術観の実現に向けた異常なまでの執念である。あるいは悠揚迫らざる態度といった方が当たって

36) DR2137-2203。

37) DR IIp.192。

38) 最近の研究では、Angela Lampe, *Work in progress : Les œuvres inachvées in GEORGES ROUAULT 《FORME, COULEUR, HARMONIE》*, Strasbourg, Musées de Strasbourg, 2006, pp.214-235 を参照のこと。彼女は、近年ルオー財団が発見した画家の切り抜きファイル（ルーヴル美術館所蔵のエジプト彫刻や壁画の図版など）をもとに、パリの国立近代美術館が遺族から寄贈を受けて所蔵する「未完成作品」を新たに論じている。

いるのかも知れない。ヴォラールは画家の性格を完全に見抜いた上で、計画中の版画集が満足いくものになるまで放置し、決して出版を焦らせることはなかった。一方のルオーは窮地に陥ることを覚悟の上で、画商がさりげなく示した新たな提案や執行猶予に不平不満を募らせながらも、最大限それらを利用した。画家と画商の間には、じつに四半世紀にわたりたえず熾烈な駆け引きの火花が散っていた³⁹⁾。1924年11月14日付け『パリ-ジュルナル』紙に掲載されたルオーへのインタビューはその間の事情を間然するところなく伝えてくれる。

—何故貴方は作品を全く展示しなくなったのですか。

ルオー「ヴォラールが、私が展示するのを好まないからです。」

—しかし、アンプロワーズ・ヴォラールは、展覧会をしたがらないのは貴方の方だと主張していますよ。

ルオー「確かにそれは本当です。私の作品はすべて描きかけなので、完成した時にだけそれらをお見せするのです。とは言っても、私が展示しないのは確かにヴォラールのせいなのです。彼は私を仕事攻めにしています。彼は私に多すぎる程の本の挿絵を描かせています。版画一点ごとに一枚の油絵を描くように要求します。最初は白黒だけにしておこうと考えたのですが、後で全部の絵に少し色付けし始めました。結局数点の作品を徹底的に描き込んだのですが、結局は、すべてを同じ程度に仕上げるまではこれらの絵を展示したくなくなった、というわけなのです。」⁴⁰⁾

どうも未刊行の理由の一半は画商ヴォラールにあったようだ。もっと正確に言えば、互いが自己の芸術実現に向けて強い確信を抱きながら、画商の仕掛け

39) 最近の研究では、Rebecca A. Rabinow, *Vollard and Rouault in CÉZANNE TO PICASSO : AMBROISE VOLLARD, PATRON OF THE AVANT-GARDE*, New York, The Metropolitan Museum of Art, 2006, pp.162-170 を参照のこと。彼女は、1913年から1939年に至るルオーとヴォラールの関係を、その契約書の具体的な内容（点数、サイズとその代価、引き渡し条件など）にまで踏み込んで論じている。

40) DR Ipp.351-352。

た策略に確信犯的に（まんまんと）はまっていった画家の決意（予想通りの選択）にあったということか。

出光美術館が所蔵する百余点の未刊行版画作品は、完成作品にも増してルオー芸術の秘密について多くを語ってくれる。いや死に至るまで筆を置くことを遅延し続けた画家の作品はすべてが「制作中」*en cours d'exécution*⁴¹⁾であり、その意味でルオーの作品はすべてが「未完成」であるとも言える。「芸術は未完に始まり未完に終わる」というベネデット・クローチェの言葉は、ルオー芸術にこそふさわしいのかも知れない。

41) DR IIp.192。

出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品 基本データ (109点)

OGI	CR	AW	ID	作品名(版画集・挿絵本)	制作年	技法	ステート
1. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》の中間ステートあるいは最終ステート以後の刷り(13点)							
001	54e	108	3204-1	1-1 (ミセレーレ) 1 神よ、われを憐れなまえ…	1923	HG, SA, A, DP, B・紙	最終ステートに加筆
002	55b	109A	3204-2	1-2 (ミセレーレ) 2 イエスは静しめられ…	1922頃	HG, SA, R, B・紙	第2ステート
003	(58)	112A	3204-3	1-3 (ミセレーレ) 5 麗と善意のこの世で、孤独	1928-32	HG, SA, A, R, B・紙	最終ステート以後の刷り
004	(63)	117A	3204-4	1-4 (ミセレーレ) 10 宿みの果てぬ吉き場まで	1928-32	HG, SA, DP, B・紙	最終ステート以後の刷り
005	64a	118A	3204-5	1-5 (ミセレーレ) 11 明日は晴れるだろう…(A)	1922頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
006	64b	(118)	3204-6	1-6 (ミセレーレ) 11 明日は晴れるだろう…(B)	1922頃	HG, SA, R, DP・紙	第2ステート
007	(72)	126A	3204-7	1-7 (ミセレーレ) 19 弁士は空々しい言葉で…	1928-32	HG, SA, R, DP, S, B・パステル・紙	最終ステート以後の刷りに加筆
008	(76)	130A	3204-8	1-8 (ミセレーレ) 23 孤独者通り	1922	HG, SA, R, DP・紙	第4ステートと最終ステートの中間
009	77f	(131)	3204-9	1-9 (ミセレーレ) 24 “冬、大地の癩病”	1928-32	HG, SA, A, R, DP, B, パステル, グワッシュ・紙	最終ステート以後の刷りに加筆
010	79b	133A	3204-10	1-10 (ミセレーレ) 26 退きと恐れの間では	1923頃	HG, SA, R・紙	第2ステート
011	87c	141	3204-11	1-11 (ミセレーレ) 34 “塵壇すら滅びたり”	1926	HG, SA, A, R, DP, S, グワッシュ・紙	最終ステートに加筆
012	98c	152A	3204-12	1-12 (ミセレーレ) 45 刺繍の床から出たたん…	1922	HG, SA, DP, B・紙	第3ステート
013	(106)	160A	3204-13	1-13 (ミセレーレ) 53 七の剣の悲しみを負う聖母	1929	HG, SA, A, R, S, B・紙	最終ステート以後の刷り
2. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題(sujet abandonné)の中間ステートあるいは最終ステート以後の刷り(3点)							
014	(134)	166	3203-1	2-1 (ミセレーレ) [十字架の道]	1928-32	HG, SA, A, R, B・紙	中間ステート
015	(144)	167A	3203-2	2-2 (ミセレーレ) [キリストと盗賊](A)	1928-32	HG, SA, A, R, B・紙	中間ステート
016	(144)	167B	3203-3	2-3 (ミセレーレ) [キリストと盗賊](B)	1930	HG, SA, A, R, S, B・紙	最終ステート以後の刷り
3. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題(sujet abandonné)の色刷り石版画による中間ステートおよび最終ステートの刷り(4点)							
017		82	3206-1	3-1 (ミセレーレ) 聖終布(A)	1925	石版画, パステル・紙(色刷り); 3色	最終ステート
018		(82)	3206-2	3-2 (ミセレーレ) 聖終布(B)	1925	石版画・紙(色刷り); 3色	中間ステート
019		83	3206-3	3-3 (ミセレーレ) 見世物小屋の呼び込み(A)	1925	石版画・紙(色刷り); 7色	最終ステート
020		(83)	3206-4	3-4 (ミセレーレ) 見世物小屋の呼び込み(B)	1925	石版画・紙(色刷り); 7色	中間ステート
4. MISERERE 銅版画集《ミセレーレ》不採用主題(sujet abandonné)の廃棄(rayé)後の刷り(30点)							
021	(115)	189	3202-1	4-1 (ミセレーレ) “悪人を悪から遠ざけるのは…”	1939頃	HG, SA, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
022	(116)	188	3202-2	4-2 (ミセレーレ) “…いらぬ床より出しとせ(1)”	1939頃	HG, SA, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
023	(118)	187	3202-3	4-3 (ミセレーレ) 我がうるわしの国、今いずこ(3)	1939頃	HG, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
024	(119)	200	3202-4	4-4 (ミセレーレ) [兵士たち]	1939頃	HG, B, S・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
025	(120)	191	3202-5	4-5 (ミセレーレ) 自分の星を信するギョームは…	1939頃	HG, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
026	(121)	194	3202-6	4-6 (ミセレーレ) 我がうるわしの国、今いずこ(2)	1939頃	HG, SA, DP・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
027	(122)	193	3202-7	4-7 (ミセレーレ) 泣く畑を悪魔の種子降りに…	1939頃	HG・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
028	(124)	192	3202-8	4-8 (ミセレーレ) 悪しき殺物は明日にも生えん(2)	1939頃	HG, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
029	(125)	197	3202-9	4-9 (ミセレーレ) 悪しき殺物は明日にも生えん(3)	1939頃	HG, SA, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
030	(126)	196	3202-10	4-10 (ミセレーレ) 悪しき殺物は明日にも生えん(4)	1939頃	HG, DP・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
031	(127)	203	3202-11	4-11 (ミセレーレ) 刈り取られた若い矢車菊	1939頃	HG, DP, R・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
032	(128)	190	3202-12	4-12 (ミセレーレ) 離弁な政治家たちは母親たちを…	1939頃	HG, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
033	(129)	184	3202-13	4-13 (ミセレーレ) …見捨てられた十字架のイエス…	1939頃	HG, SA, DP, R, B, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
034	(130)	182	3202-14	4-14 (ミセレーレ) そてかじられる骨のように…	1939頃	HG, DP, B, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
035	(132)	180	3202-15	4-15 (ミセレーレ) 眼に見える意味でか…	1939頃	HG, SA, DP, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
036	(134)	178	3202-16	4-16 (ミセレーレ) [十字架の道]	1939頃	HG, SA, DP, R, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
037	(135)	174	3202-17	4-17 (ミセレーレ) 孤児たち	1939頃	HG, R, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
038	(136)	186	3202-18	4-18 (ミセレーレ) “神は塩も辛子もつけない肉…”	1939頃	HG, SA, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
039	(137)	198	3202-19	4-19 (ミセレーレ) ああ、わが隣よ、人生は夢だ	1939頃	HG, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
040	(140)	175	3202-20	4-20 (ミセレーレ) [樹海たちと工場]	1939頃	HG, SA, DP, R, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
041	(141)	177	3202-21	4-21 (ミセレーレ) 死者たちの入江(2)	1939頃	HG, SA, DP, R, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
042	(142)	199	3202-22	4-22 (ミセレーレ) 藪奥へ、逃げ	1939頃	HG, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
043	(143)	181	3202-23	4-23 (ミセレーレ) [見捨てられた者]	1939頃	HG, SA, R, DP, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
044	(145)	176	3202-25	4-24 (ミセレーレ) ユールド・フランス	1939頃	HG, SA, R, DP, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
045	(146)	201	3202-26	4-25 (ミセレーレ) “パピロンの流れるほとりぞ”	1939頃	HG, B・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
046	(147)	202	3202-24	4-26 (ミセレーレ) みたつきの黒髪を生垣の間に…	1939頃	HG・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
047	(148)	185	3202-27	4-27 (ミセレーレ) ヴェルレーヌ	1939頃	HG, DP, R・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
048	(149)	195	3202-28	4-28 (ミセレーレ) 秋	1939頃	HG, DP, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
049	(150)	183	3202-29	4-29 (ミセレーレ) 見世物小屋の呼び込み	1939頃	HG, SA, DP, R, P・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
050	(151)	179	3202-30	4-30 (ミセレーレ) 生まれつきのまよいの中に…	1939頃	HG, A, DP・紙	廃棄(rayé)後の刷り(中間ステート)
5. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《「悪の華」のための14枚の銅版画》のエリオグラヴールによる第1ステートの刷り(1点)							
051	224a	259	3205-26	5-1 《「悪の華」のための14枚の銅版画》11 “生者並…”	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート

凡例

- 1) 「作品番号」の略号は、OGI=出光美術館所蔵ルオー未刊行版画作品番号、CR=「ルオー全版画」作品番号、AW=アラン・ウOFFシー編「ルオー版画作品」作品番号、ID=出光美術館所蔵作品番号。また番号のカッコ表記は同一主題で別ステートの作品を示す。
- 2) 「作品名」のうち、すでに「ルオー全版画」に収録されているものは適宜短縮して表記した。また「ルオー全版画」にない「悪の輩」に関してはAW記載の作品名を邦訳した。邦訳に際し「ボードレール全集1 悪の輩」(筑摩書房, 1983)の阿部良雄訳を参照した。
- 3) 「技法」の略号は、HG=エリオグラヴェール、SA=シュガークアアティント、A=アークアティント、DP=ドライ・ポイント、R=ルーレット、E=エッチング、B=バーニッシャー、S=スクレイパー、P=磨ぎ出し。
- 4) 「サイズ」の略号は、Iサイズ=イメージサイズ、PMサイズ=プレートマーク(プレスした時に紙に付く銅版の凹凸)サイズ。ルオーの場合、一般的に最終ステートで銅版はイメージサイズに合わせて切断され印刷されている。表記は縦×横cm。
- 5) 「副師」のカッコ表記は編者の推定を示す。

書 込 み	Iサイズ	PMサイズ	紙サイズ	副 師	注 記
1923GR (左下)	57.5×42.0		64.6×50.5	(Jacquemin)	
	55.5×40.7	60.2×45.1	64.0×49.3	(Jacquemin)	
	58.0×41.8		65.8×50.3	(Maurice Potin)	
	56.7×42.0		65.4×50.5	(Maurice Potin)	
	51.1×35.5	53.3×38.8	62.7×48.0	(Jacquemin)	
	50.6×35.8	53.5×39.0	64.6×49.4	(Jacquemin)	
	53.6×40.9		65.1×50.4	(Maurice Potin)	
1922GR (右下)	36.5×50.8		44.3×61.8	(Jacquemin)	
1922GR (右下)	51.3×36.5		60.2×44.5	(Maurice Potin)	
	41.2×58.0	43.6×60.3	50.5×65.1	(Jacquemin)	
G Rouault1926 (左下)	58.2×44.6		65.1×50.8	(Jacquemin)	
G Rouault1922 (余白下)	54.3×33.5	55.8×39.8	64.8×50.0	(Jacquemin)	
G Rouault1929 (左下)	57.4×40.7		73.5×56.7	(Maurice Potin)	
	58.4×42.3	61.3×46.2	65.3×50.5	(Maurice Potin)	
	52.5×45.5	56.5×48.0	65.5×50.5	(Maurice Potin)	CR 日本語版版は144と147が逆
G Rouault1930 (左下)	52.6×45.6		60.8×50.1	(Maurice Potin)	CR 日本語版版は144と147が逆
Georges Rouault (右下)	57.8×44.7		65.5×50.6	Auguste Clot	CR113の主題を写真製版
	57.8×44.3		65.0×50.6	Auguste Clot	CR113の主題を写真製版
Georges Rouault (右下)	58.0×45.6		65.4×50.1	Auguste Clot	CR150の主題を写真製版
	58.0×45.6		65.4×50.1	Auguste Clot	CR150の主題を写真製版
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	59.3×42.4	61.8×44.8	90.4×63.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-1
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	61.0×43.5	61.7×44.2	90.7×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	58.7×41.7	61.7×44.7	90.4×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	58.3×43.5	61.1×46.1	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	58.9×36.3	61.2×38.3	90.2×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.2×44.3	61.6×44.7	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	40.5×59.2	42.9×60.6	63.5×90.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	58.5×43.7	62.3×46.7	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	44.2×58.8	46.9×61.8	63.5×90.3	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.4×44.3	61.8×44.8	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	62.0×42.6	68.6×44.0	90.3×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	59.0×42.6	61.8×46.2	90.3×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.5×44.3	61.7×44.7	90.3×63.4	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	59.0×41.7	61.5×43.4	90.5×63.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-2
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.8×45.9	61.9×46.2	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	59.0×43.6	61.7×46.0	90.6×63.3	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	58.3×44.1	61.2×46.5	90.3×63.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-3
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	58.3×43.3	59.9×44.3	90.4×63.6	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-4
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	44.0×59.3	48.5×63.3	63.3×90.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-5
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.0×43.0	61.3×43.3	90.5×63.2	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.3×44.3	61.9×44.7	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	44.8×58.4	50.5×61.1	63.5×90.2	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	59.2×42.5	61.8×44.7	90.5×63.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-6
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	57.8×44.0	60.5×46.4	90.5×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	42.5×58.0	45.2×61.4	63.5×90.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-7
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	58.8×43.0	61.8×46.1	90.3×63.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 A-8
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	61.0×44.4	61.7×45.2	90.3×63.5	Roger Lacourière	
Etat primitif hélio rayée nul GR (右下)	44.2×58.5	46.1×59.5	63.6×90.3	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	59.5×45.5	61.7×49.1	90.5×63.4	Roger Lacourière	
Planches primitives hélios rayées GR (右下)	59.0×38.2	61.8×40.6	90.3×63.5	Roger Lacourière	
	35.0×25.7	37.1×27.7	44.6×32.0	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-1

OGI	CR	AW	ID	作品名(版画集・挿絵本)	制作年	技法	シート
6. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》不採用主題 (sujet abandonné) のエリオグラヴールによる第1ステートの刷り (35点)							
052		235	3205-2	6-1 《悪の華》【聖母子】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
053		236	3205-3	6-2 《悪の華》【シテールへの旅】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
054		237	3205-4	6-3 《悪の華》【埋葬】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
055		238	3205-5	6-4 《悪の華》【ローラ・ド・ヴァランス】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
056		239	3205-6	6-5 《悪の華》【正面を向いた女】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
057		240	3205-7	6-6 《悪の華》【女巨人1】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
058		241	3205-8	6-7 《悪の華》【製靴布】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
059		242	3205-9	6-8 《悪の華》【ベアトリーチェ(浄福を授ける女)1】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
060		243	3205-10	6-9 《悪の華》【殺害者】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
061		244	3205-11	6-10 《悪の華》【兄弟】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
062		245	3205-12	6-11 《悪の華》【羞し向かい】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
063		246	3205-13	6-12 《悪の華》【生】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
064		247	3205-14	6-13 《悪の華》【幽霊】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
065		248	3205-15	6-14 《悪の華》【夜宴】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
066		249	3205-16	6-15 《悪の華》【ベアトリーチェ(浄福を授ける女)2】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
067		250	3205-17	6-16 《悪の華》【期待】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
068		251	3205-18	6-17 《悪の華》【夢想】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
069		252	3205-19	6-18 《悪の華》【秋の小曲(ソネ)】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
070		253	3205-20	6-19 《悪の華》【窓際の終巻】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
071		254	3205-21	6-20 《悪の華》【理想】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
072		255	3205-22	6-21 《悪の華》【地獄嬢ちの女】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
073		256	3205-23	6-22 《悪の華》【植民地生れる夫人に】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
074		257	3205-24	6-23 《悪の華》【左向きのお雲】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
075		258	3205-25	6-24 《悪の華》【復讐】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
076		260	3205-27	6-25 《悪の華》【ローラ】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
077		261	3205-28	6-26 《悪の華》【夜宴】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
078		262	3205-29	6-27 《悪の華》【死の舞踏】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
079		263	3205-30	6-28 《悪の華》【ボードレールの墓】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
080		264	3205-31	6-29 《悪の華》【右を向いた裸の娼婦】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
081		265	3205-32	6-30 《悪の華》【麗麗1】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
082		266	3205-33	6-31 《悪の華》【右向き終巻】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
083		267	3205-34	6-32 《悪の華》【深き淵より】	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
084		268	3205-35	6-33 《悪の華》【ペルト】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
085		269	3205-36	6-34 《悪の華》【踊舞する人】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
086		270	3205-37	6-35 《悪の華》【横向き終巻】(A)	1925頃	HG・紙	エリオグラヴールによる第1ステート
7. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》不採用主題 (sujet abandonné) の第1ステートの刷りにバステルで加筆したの(13点)							
087	(235)	12516-1	7-1 《悪の華》【聖母子】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
088	(236)	12516-2	7-2 《悪の華》【シテールへの旅】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
089		12516-3	7-3 《悪の華》【女巨人2】	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
090	(249)	12516-4	7-4 《悪の華》【ベアトリーチェ(浄福を授ける女)2】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
091	(251)	12516-5	7-5 《悪の華》【夢想】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
092	(254)	12516-6	7-6 《悪の華》【理想】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
093	(255)	12516-7	7-7 《悪の華》【地獄嬢ちの女】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
094	(256)	12516-8	7-8 《悪の華》【植民地生れる夫人に】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
095	(265)	12516-9	7-9 《悪の華》【麗麗1】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
096		12516-10	7-10 《悪の華》【麗麗2】	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
097	(268)	12516-11	7-11 《悪の華》【ペルト】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
098	(269)	12516-12	7-12 《悪の華》【踊舞する人】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
099	(270)	12516-13	7-13 《悪の華》【横向き終巻】(B)	1926-27頃	HG, バステル・紙	エリオグラヴールの第1ステートに加筆	
8. LES FLEURS DU MAL 銅版画集《悪の華》のための新しい習作 (nouvelle étude) のエッチングによる第1ステートの刷り (1点)							
100	232a	232	3205-1	8-1 《悪の華》カーテンの前の裸婦	1930以降	E, R・紙	エッチングによる第1ステート
9. CIRQUE 挿絵本(サーカス)(未刊)不採用主題 (sujet abandonné) の色版 (planche pour les couleurs) を除く、墨版 (planche pour le noir) による中間ステートの刷り (1点)							
101		213	3206-5	9-1 《サーカス》黒い犬をつれた道化師	1928-32	HG, SA, R, B・紙(墨版)	中間ステート
10. CIRQUE DE L'ÉTOILE FILANTE 挿絵本《流れる星のサーカス》の墨版 (planche pour le noir) を除く、色分解 (décomposition des couleurs) された色版 (planche pour les couleurs) による中間ステートの刷り (3点)							
102	(255)	(334)	3206-6	10-1 《流れる星のサーカス》オーギュスト(A)	1933-35	SA・紙(色版:7色)	中間ステート
103	(255)	(334)	3206-8	10-2 《流れる星のサーカス》オーギュスト(B)	1933-35	SA・紙(色版:6色)	中間ステート
104	(255)	(334)	3206-7	10-3 《流れる星のサーカス》オーギュスト(C)	1933-35	SA・紙(色刷り:13色)	中間ステート (A)+(B)
11. FLEURS DÉCORATIVES 《装飾的な花》(ルオーの油彩画に基づくスタンプ)の墨版 (planche pour le noir) および色分解 (décomposition des couleurs) された色版 (planche pour les couleurs) による最終ステートの刷り (5点)							
105	(287)	3206-10	11-1 《装飾的な花》(A)	1960	SA, A, E, R, B・紙(墨版)	最終ステート	
106	(287)	3206-11	11-2 《装飾的な花》(B)	1960	SA, A, B・紙(色版:8色)	最終ステート	
107	(287)	3206-12	11-3 《装飾的な花》(C)	1960	SA, A, B・紙(色版:7色)	最終ステート	
108	(287)	3206-13	11-4 《装飾的な花》(D)	1960	SA, A, E, R, B・紙(色版:7色)	最終ステート	
109	(287)	3206-9	11-5 《装飾的な花》(E)	1960	SA, A, E, R, B・紙(色刷り:22色)	最終ステート (A)+(B)+(C)+(D)	

書 込 み	I サイズ	PM サイズ	紙 サイズ	刷 師	注 記
	34.4×25.6	36.5×27.6	44.4×35.6	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-2
	25.1×34.3	27.6×37.3	33.6×44.6	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-3
	23.9×33.8	27.8×37.7	33.6×44.5	(Macquart)	
	34.6×25.0	37.1×27.7	44.3×33.6	(Macquart)	
	34.2×25.5	32.3×27.9	44.5×33.5	(Macquart)	
	34.2×24.9	36.7×27.8	44.4×33.6	(Macquart)	
	33.9×23.8	37.2×27.6	44.4×32.2	(Macquart)	
	33.8×25.0	36.8×27.8	44.5×33.3	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-4
	33.9×25.3	36.6×27.6	44.6×33.5	(Macquart)	
	34.0×25.5	36.6×27.6	44.3×33.5	(Macquart)	
	34.3×25.4	37.2×27.7	44.2×33.5	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-5
	33.5×23.6	37.4×27.7	44.4×33.6	(Macquart)	
	34.5×25.2	37.2×27.8	44.4×33.5	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-6
	34.6×25.3	37.1×27.5	44.4×33.5	(Macquart)	
	34.7×25.0	37.2×27.4	44.5×33.7	(Macquart)	
	34.0×25.0	36.7×27.5	44.3×33.4	(Macquart)	
	34.4×24.6	37.1×27.8	44.4×33.8	(Macquart)	
	33.7×23.9	37.3×27.7	44.4×33.6	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-7
	34.4×25.4	37.1×28.2	44.3×33.5	(Macquart)	
	34.5×25.0	37.2×27.5	44.1×33.6	(Macquart)	
	33.3×24.1	37.3×27.5	44.2×33.5	(Macquart)	
	33.5×25.0	36.3×27.5	44.6×33.5	(Macquart)	
	33.5×23.5	37.3×27.6	44.5×33.5	(Macquart)	
	34.3×24.1	37.6×27.8	44.5×33.6	(Macquart)	
	33.5×23.5	37.3×27.7	44.5×33.6	(Macquart)	
	33.8×24.0	37.3×27.9	44.5×33.5	(Macquart)	
	24.3×34.1	27.8×37.4	33.8×44.3	(Macquart)	「出光図録」(2008) 参考図版 B-8
	33.8×24.4	37.0×27.7	44.5×33.5	(Macquart)	
	34.2×25.4	36.8×27.6	44.3×33.7	(Macquart)	
	34.6×25.4	37.3×27.7	44.5×33.6	(Macquart)	
	34.8×25.2	37.1×28.2	44.5×33.4	(Macquart)	
	35.0×25.5	37.2×27.8	44.5×33.5	(Macquart)	
	34.1×24.0	37.3×28.0	44.3×33.6	(Macquart)	
	24.0×34.8	27.5×37.2	33.6×44.5	(Macquart)	
	33.5×25.4	36.1×27.8	44.3×33.6	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上) ; A reserver (余白左下)	34.5×25.7	36.7×27.7	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	25.0×34.4	27.6×37.4	33.5×44.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	34.3×24.0	37.3×27.2	44.7×33.5	(Macquart)	AW240と類似しているが別主題
Epreuve primitive (余白左上) ; Pas de main-À revoir (余白左下)	34.6×25.0	37.3×27.4	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	34.5×24.6	37.5×27.9	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上) ; A revoir (余白左下)	34.6×25.0	37.4×27.1	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	33.4×24.0	37.6×27.6	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	33.6×25.3	36.3×27.6	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	34.6×25.3	37.3×27.8	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上) ; A reserver (余白左下)	34.0×24.0	37.6×27.8	44.5×33.5	(Macquart)	CR224と類似しているが別主題
Epreuve primitive (余白左上)	34.0×24.0	37.4×27.8	44.5×33.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	24.0×34.6	27.8×37.3	33.5×44.5	(Macquart)	
Epreuve primitive (余白左上)	33.6×25.5	36.3×27.7	44.5×33.5	(Macquart)	
	34.7×26.0	37.8×28.7	44.5×33.5		
	32.4×21.4	35.7×25.6	44.3×32.5	Maurice Polin	「出光図録」(2008) 参考図版 C-1
	30.7×21.2	31.5×22.0	44.1×32.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-2
	31.1×21.2	31.6×22.0	44.0×32.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-3
	30.8×21.2	31.5×22.0	44.3×32.6	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-4
G Rouault (右下)	55.7×38.3		75.9×56.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-5
	55.5×38.2		75.9×56.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-6
	55.6×38.1		75.8×56.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-7
	55.7×38.0		75.9×56.5	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-8
G Rouault (右下) ; 25/175 (余白左下)	55.7×38.2		75.9×57.0	Roger Lacourière	「出光図録」(2008) 参考図版 C-9